人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

12号

大日化成株式会社
〒571-0030　大阪府門真市末広町 8-13
TEL：06-6909-6755　FAX：06-6909-6702
URL：http://www.dainichikasei.co.jp

アスベスト除去工事には・・・

水ゲル型アスベスト除去用
湿潤材ベストール

効果的で「省エネ」な「折板屋根・スレート屋根の改修工法

折板屋根やスレート屋根は3～40年前より、工場倉庫など大規模な建物で施工の簡易さや価格面などから採用されてきましたが、経年により老朽化が激しく、その多くが改修の時期に来ていると思われます。殊に漏水がある場合や著しい劣化により漏水が予想される場合などは防水材による改修、またはカバー工法、葺き替えなどによる改修が必要となってきます。

◆改修方法の選定

折板・スレート屋根材の葺き替え、カバー工法は非常に良い工法なのですが、施工となると工場、倉庫などでは稼動を停止しなければならなかったり、構造物の耐力不足により施工そのものが行えない場合があります。このようなケースでは防水材の施工が最適です。

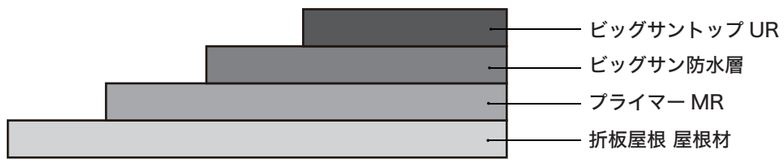
◆防水材での施工とは？

屋根材に不具合があれば補修し、それらの上に防水材を塗布することができる一石二鳥の工法です。この工法であれば、屋根下の工場の稼働を止めることもなく施工が可能で、工期も大幅に短く済むことから、廃棄物も殆ど出ません。時間とコストの軽減がおおきく図れます。また、遮熱効果で屋根下のエネルギー効率をアップし、CO2の削減にも貢献できます。しかも遮音効果や防錆効果もある為、さらに屋根材の長期使用が期待できます。

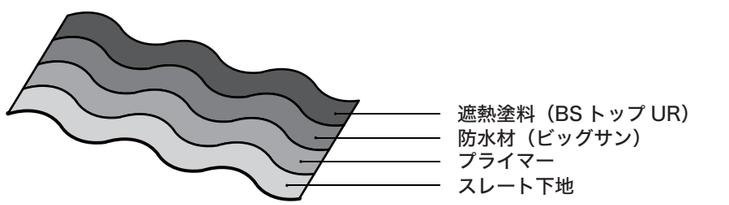
仕上げに遮熱塗料を塗布することで、遮熱効果も得ることができる一石二鳥の工法です。この工法であれば、屋根下の工場の稼働を止めることもなく施工が可能で、工期も大幅に短く済むことから、廃棄物も殆ど出ません。時間とコストの軽減がおおきく図れます。また、遮熱効果で屋根下のエネルギー効率をアップし、CO2の削減にも貢献できます。しかも遮音効果や防錆効果もある為、さらに屋根材の長期使用が期待できます。

経年使用で劣化が激しい。漏水がある。防錆や塗装だけでは実現できない、長期的な保護性能を求めたい。遮熱を検討している。と言うような方は、是非ともMR・SR工法をご採用ください。

MR－1工法（遮熱仕様）



SR 工法（遮熱仕様）



グリーン購入で環境保護を

「グリーン購入」とは、消費者が物を購入する際の基準として、品質や価格・デザイン・利便性だけで選ぶのではなく、その製品やサービスがどの程度、環境に配慮されたものかを考えて購入することをいいます。

つまり、「環境への配慮」や「環境負荷の少ない」製品やサービスを購入することを推進するものです。

もう一点重要なことは、購入する際に本当に必要なのかを考えよう、また使用後のリサイクルが確立されているのかなども十分に考慮することが期待されています。

購入とは反対に「グリーン調達」と言う定義もあります。「グリーン購入」が購入する側の観点であるということにたいして「グリーン調達」は供給する側（メーカー側）の行動をさします。

近年、環境負荷に関する施行されていますが、環境負荷を推進しても、これらに対する需要がなければ、真の意味での環境への配慮は難しいためです。その為に需要と供給のギャップを埋め、意識を拡大させるために国が率先して製品を購入することで需要の牽引役になる必要がありました。

2000年に主に官公庁が環境負荷の低減に務める事業者から、優先的に部品や備品（サービスも含む）を調達したり、公共事業を発注する目的でグリーン購入法が制定されました。

その為に、製品やサービスを提供している企業は、環境に配慮した製品やサービスを研究・開発・製造・販売するようになり、結果的に環境負荷の低減に対する自主的な取り組みが促進されるようになりました。

しかし製紙メーカーによる再生紙偽装問題が発覚。「再生紙100%」とうたった商品が、実際には表示よりも再生紙比率が低いことなどが問題となりました。原因の一つとして、グリーン調達を掲げなければイメージ戦略上、企業の売上につながってしまうために再生紙の需要が異常に拡大して供給能力を超えてしまった事もあります。

そこで環境省は政府のグリーン調達基準をコピー用紙に関しては間伐材などを原料にしたものも限定的に使えるように見直しを行いました。

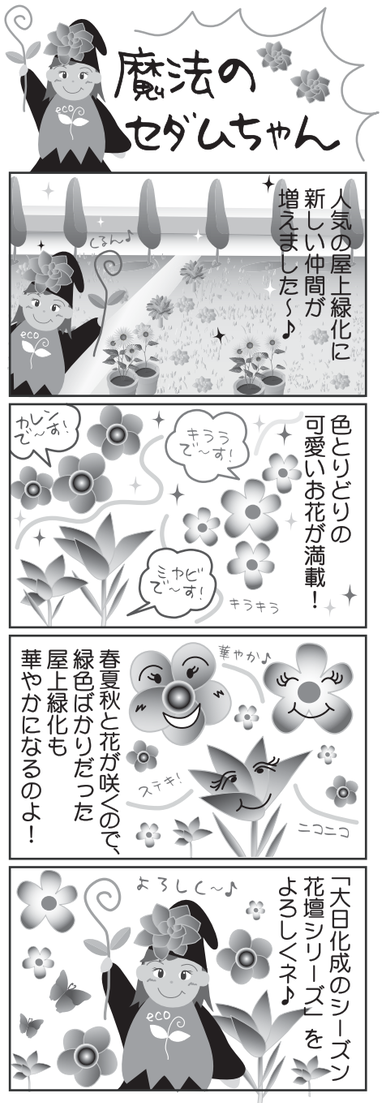
こうした法律の動きとは別に「グリーン購入ネットワーク」（GPN）というものが存在し、独自に「グリーン購入ガイドライン」を公表しています。元々、GPNはグリーン購入の取り組みを促進するために、1996年2月に設立された団体で、企業や消費者、行政など様々な会員で構成されたネットワーク組織です。

「グリーン購入ガイドライン」では、環境面で考慮すべき事柄を製品ごとに挙げており、エコマークもその一環のひとつです。

大日化成ビッグサンコートSC－100、ビッグサンパウダーR－100は塗膜防水材としてはいち早くエコマークの認定を受けた環境にやさしい材料です。

グリーン購入、グリーン調達とも、企業の社会的責任（CSR）に積極的に取り組むうえで欠かせない事柄になりつつあります。

みなさまも環境負荷を考慮して、地球温暖化防止、CO2削減に参加しませんか？



こんなところで活躍しています

名古屋市医師会協同組合検診センター

スカイレジン＜下地調整剤＞

スカイレジンWE
エポフィラー
プライマーE
EPC－T

水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。
溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です！

BIG SUN＜土木用防水材＞

ポリマーセメント系塗膜防水材

シーズン花壇

屋上緑化に四季の彩りを実現

Vol.9

映画で学ぶ環境問題

崖の上のポニョ

公開：2008 年
配給：東宝
制作：星野康二
プロデューサー：鈴木敏夫
原作・脚本・監督：宮崎駿
音楽：久石譲
声の出演：山口智子、長嶋一茂、天海祐希、所ジョージ　他
上映時間：101 分

♪ ポーニョ　ポーニョポニョ
さかなの子～
まんまるおなかの　女の子～

一昨年の夏にちまたに一斉に流れ、誰もが耳にしたこの主題歌を持つ「崖の上のポニョ」。日本中の子供たちを純粋にくぎ付けにしたファンタジー映画であるという一面以外にも、実は環境問題に一石を投じることにもなった、社会性の高い映画であること、ご存知でしょうか？

主人公は宗介、5歳。船乗りのお父さん、デイケアサービスで働くお母さんと、崖の上の家でくらしています。ある朝、崖の下でさかなの子「ポニョ」と出会います。おたがいに大好きになった宗介とポニョ。ポニョは一旦、父親に海に連れ戻されてしまうのですが、大好きな宗介に会いたくて、人間の女の子の姿になって崖の上に戻ってきます。

その時ポニョが強い力を持つ「生命の水」をまき散らしてしまうことで、海は荒れ、嵐が訪れ……。そして不思議なことが次々と起こっていくのです――。

このお話の舞台が、広島県福山市にある鞆の浦をモデルにしていることは有名です。「鞆の浦訴訟」のニュースをご存知の方も多いのではないでしょうか？

鞆の浦は古い港町で、道路が細く、世の物流に適していないため、町はさびれ、若者たちはいなくなってしまい……という状況を危惧した市政が、湾の一部を埋め立て、物流車両が行きかえる大きな橋を架ける計画を立てます。しかし、それによって鞆の浦の美しい景観がそこなわれることになる、という住人の反対が生まれ、始まったのがこの訴訟です。

そこに、「崖の上のポニョ」によってこの鞆の浦に全国から注目があつまり、「ポニョ」の監督である宮崎駿氏や「尾道三部作」監督の大林宣彦氏らもこの動きに賛同し、歴史ある街並みを守るための基金を設立するなどによって、運動は加速します。そしてその結果、なんとこの訴訟は住人側の勝利を得て、鞆の浦の美しい景観は守られることになるのです。

「環境を守るためには、多少の不便には目をつぶる」

と、そこに住んでいない人間が言うのは簡単です。しかし、実際暮らしている人々が利便性を求めるのも当然のことです。この運動も、すべての住人が賛同していたわけではありません。

しかし自然を壊してしまえば、それをもとにもどすのは不可能なこと。利便性の追求ばかりに比重をおいてしまえば、取り返しのつかないことになってしまいます。

「生活と環境の共存」を考えるにあたって、最も良いポイントを見極めるという作業は、容易なことではありません。それでも、生命が自然から生まれたこと、人間も自然の一部であることを忘れないで……。この映画には、そんなメッセージが込められているのではないでしょうか？

宗介とポニョの可愛らしいやりとりの背景に、環境問題に大きく関与するまでの強い想いがギッシリつまった「崖の上のポニョ」。利便性の追求と環境の保全。そのどちらをも常に要求されている立場でいらっしゃる皆様にも、ぜひ一度観ていただきたい映画です。

ユニーク

街で見つけたエコグッズのご紹介

究極のエコバッグ『風呂敷』

小さい頃、銭湯に行く際に風呂桶やバスタオルを風呂敷に包んで行った記憶があります。

帰りには、背中へマントのようにして遊びながら帰ったものです。時代の流れとともに風呂敷は姿を消していましたが、小さく畳めば邪魔にならず、洋服のポケットにも入る便利なものです。

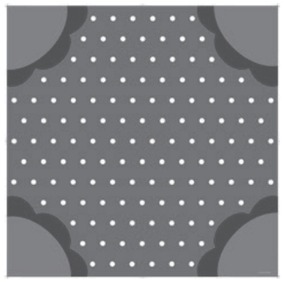
法曹関係の方はずっと使っている方が多いようです。束ねた書類をくくるっと束ねて持ち運ぶことができるので非常に便利だからです。

風呂敷のデザインで思いつくのは唐草（からくさ）模様ですが、それでは現代の若い方は使いませんね。そこで、柄だけではなく、包み方から考えて風呂敷の常識を打ち破った製品が人気を博しています。

開いている時にはキレイな柄でしかも見えませんが、工夫をこらした方法で、包み上がればいちご記事の形になるのです。

これなら持ち運びに便利な上に非常におしゃれな風呂敷を知らなかった若い方にも十分に使ってもらえると思います。

結び方を工夫すると



結び方もインターネットの動画サイトで見ることができるので簡単に使いこなすことができるでしょう。いちごの他にも巾着袋に見える結び方など工夫を凝らし形やデザインを合わせた風呂敷が幾つかあるようです。

究極のエコバッグ「風呂敷」を見直しませんか？

http://mottainai-shop.jp/fs/mottainai/c_furoshiki/L08001

大日新聞では情報として市販のエコグッズをご紹介しておりますが、推奨品としてお薦めする製品ではありません。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び
大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

スタッフ紹介

日頃は営業活動やお電話で応対させていただいておりますスタッフの日常をお伝えいたします。

今年の2月のことですが、「後楽園」に行ってきました。

他県人には「後楽園って、東京の？」と言われがちですが、岡山に住んでいる人なら誰もが知っている名園ですよね。と言っても、私も生まれも育ちも岡山で20年間住んでいて初めて行ったのですが。

「後楽園」は日本庭園（大名庭園）で日本三名園の一つです。

江戸時代初期に岡山藩主・池田綱政によって造営された、元禄文化を代表する庭園で、国の特別名勝に指定されていて広さは東京ドーム3個分の約3倍もあるそうです。

さすが、日本三名園の一つだけあって手入れの行き届いた優雅で素晴らしい日本庭園です。2月で冬でしたが、梅の花がたくさん咲いていて冬なのにこんなにも綺麗なんだと感動しました。

桜の木もたくさんあり、奥には枝垂桜の並木道があり、満開時はとても綺麗なんだろうなぁと思いながら歩きました。毎年夏には、幻想庭園というイベントをしていて、夜の後楽園がライトアップされとても綺麗だそうです。お正月にはタンチョウの放鳥もあり、色々な催し物や四季を感じることができる場所もあるので時期に行っても楽しめるとの時期に行っても楽しめると思います。

園内には、抹茶や、きびだんごを食べれる茶屋があり、タンチョウやコイ、カメもいたりして子供からお年寄りまで楽しめるのではないでしょうか。

後楽園から岡山城も間近に見え、沢の池を中心とし、園内には古くからの建物がたくさんあります。庭園のどの位置から見ても、美しい景色が見られることに驚きました。

一番印象的だったのが、大きな石を一度砕いて運び、もう一度組み立てたという大岩。崩れそうで崩れない昔の人の技術に感動しました。ゆっくりのんびりと景色を楽しみながら庭園を歩くことはとても気持ちがよく癒されます。本当に広いので、全体を回ると良い運動にもなります。家族や夫婦・カップルでのデートにもお勧めです。

フランスのミシュラン観光ガイドに「後楽園」が紹介されていたそうで外国からのお客様も増えてきているようですが、県外の方はもちろんのこと、外国の方にももっとPRできたらなと思います。

後楽園は、我が岡山・備前が誇る、月の後楽園！ミシュラン観光ガイド三ツ星と郷土愛満載で申し訳ないですが、隣接する岡山城と共に美しいです。是非一度、ゆっくりと流れる空気を味わってほしい場所です。

製造部 西森 亜矢

DAINICHI CHEMICAL CO.,LTD.
●本社
〒571-0030　大阪府門真市末広町 8-13
TEL：06-6909-6755(代)　/　FAX：06-6909-6702
●東京営業所
〒105-0013　東京都港区浜松町 1-2-11
TEL：03-3436-3801(代)　/　FAX：03-3436-3803

URL：http://www.dainichikasei.co.jp